

2年間で取り組む 看護職のWLB推進ワークショップ 平成30年度 参加施設募集！

「看護職のWLB(ワーク・ライフ・バランス)」に参加して、
看護職の働き続けられる職場づくりに取り組みませんか？

事業概要： 病院、施設の方にもご参加しやすいように、取り組み期間を2年間とし、看護職が定着する組織への糸口をみつけます。

開催日程： 1年目 説明会、ワークショップ、現状分析説明会、情報交換会、報告会 年5回
2年目 報告会(2回)、情報交換会 年3回

会場： 愛知県看護研修会館

対象： 愛知県看護協会の会員施設(4~5施設)

費用： 無料 自施設で現状調査を実施する場合は無料です。

業者に依頼するインデックス調査を実施する場合は有料です。

例) 勤務する看護職100名の場合：約60,000円
300名の場合：約70,000円



ワークショップにご興味をもたれた病院・施設の方は、
お電話またはメールでまずはご一報ください。詳細をご説明します。
特に200床以下の病院の方、老人保健施設のご参加をお待ちしております！

申込方法： 当協会HPから申込書をダウンロード、記入の上、FAX
またはE-mailで送付。

申込締切： 平成30年3月23日(金)

問合せ先： 愛知県看護協会 看護職のWLB担当 東根 森島

TEL 052-871-0711 FAX 052-871-0757

HP www.aichi-kangokyokai.or.jp

E-mail wshop@aichi-kangokyokai.or.jp

ワーク・ライフ・バランス(WLB)とは

仕事と生活を調和させることで両者間に好ましい相乗効果を高めようという考え方と、その取り組みを指します。

愛知県看護協会は、平成24年度から本格的に事業を開始、「看護職が定着する組織にしたい!」という病院が集まって、2年間でより良い職場環境づくりに取り組んできています。

Lifeばかり優先されて、Workがおろそかになるんじゃないの?

Workの充実も大切です!

WorkとLifeが互いに相乗効果を生み出し、好循環をつくり出し、患者さんへのケアの向上、信頼度アップ!

WLBって子育て支援でしょ? 独身者にしわ寄せがくるんじゃない

WLBのL=Lifeは子育てだけじゃないです!

「仕事以外の生活」全部なんです! お互いさま意識のある環境へ。

個人の幸せより病院が優先でしょ? 経営が厳しいのに!

WLBは人材戦略・経営戦略の一つです!

職員の生きがいや働きがいが高まれば、離職が減り、やる気や能率が上がって、経営向上につながります。

2年間で取り組む看護職のWLB推進ワークショップのQ&A

Q1. 1年目に協会に行き参加するのは、何日間なのでしょう?

A. 現状分析のための説明会を8月に午後半日。9月にワークショップ個別ワークと全体討議を1日。その後、病院で取り組みを行います。12月に情報交換会、翌年2月にWLB取組状況報告会を午後半日行います。

Q2. WLB取組状況報告会って?

A. ワークショップを受けて、自分たちの病院で取り組んできたことを発表してもらい、それを参加施設や支援者と全体で検討します。WLB取り組みの方向性について、助言を得られ、再確認できます。

Q3. 誰がワークショップに参加すると効果的ですか? 複数人で参加してもよいのですか?

A. 経営的なことも含めたアクションプランを考えますので、看護管理者、事務部長(人事・事務担当者)のほか、現場をまとめる看護師長や若いスタッフ、他部門のスタッフもそろって参加すると効果的です。参加人数の目安は6名程度です。

Q4. 1日のワークショップでアクションプランが立てられるのでしょうか?

A. 事前にお渡しする資料でワーク・ライフ・バランスについて正しく理解していただけます。
現状調査の結果から、自分の病院のWLB推進などの現状を正しく把握し、課題を明らかにすることが目標です。担当施設の地域支援者がアクションプラン作成に対する助言・支援を行います。
もちろん、すでに先行してWLB推進に取り組んでいる病院では、アクションプランの見直しから入ってもらうことも可能です。

Q5. 取組状況報告会までの4か月だとあまり何もできないのでは?

A. それぞれの病院の状況に応じて取り組んでいただければ結構です。ワークショップ後の4ヶ月間は、これか

ら継続してWLB推進を行っていくための最初の一步と位置づけています。まずは推進体制づくりからスタートです。ワークショップでは長期的、短期的な目標や行動プランを検討しますので、できることから、一步一步進めていきましょう。ワークショップ終了後の早い時期に、協会の支援者が施設へ訪問します。また、メールや電話等でいつでもご相談にのります。

Q6. どういった人たちがワークショップでサポートしてくれるのですか?

A. すでに県内で先行してWLBを推進している病院の看護管理者、行政の関係機関の方、地域のこともよくわかっての方や社会福祉経済委員会の方たちです。ワークショップでは、各グループに、そのうちの2~3人が参加します。
また、愛知県看護協会内には、地域におけるWLB推進の中心となる地域支援者がおります。参加施設を分担して担当し、施設訪問やワークショップの期間外でも、相談・支援を受けることが可能です。

Q7. 現状把握はどのようにしますか?

A. 有料の調査は、施設調査と個人調査から構成されています。現状を把握し、分析するために実施します。
施設調査は、看護管理者が、事務部長(人事・事務担当者)にご相談されながら回答されるとよいと思います。個人調査は、全看護職員が対象です。インターネットを介して全体集計されますので、個人は特定されません。
調査票を用いて自施設で現状把握することも可能です。この場合は無料です。

Q8. ところで、ワークショップの参加費用は?

A. インデックス調査を行う場合は、調査費が必要ですが、その他は無料です。働き続けられる職場づくりに取り組みたい施設のご参加をお待ちしています。